



OXFORD
ECONOMICS

ハイブリッドクラウド とAIの相乗効果

ハイブリッドクラウドとAIの組み合わせはどの
ような効果をもたらすのか



とのコラボレーション

エグゼクティブサマリー・ レポート

経営トップが、業務プロセスの自動化、アプリケーションのモダナイゼーション、開発プロセスの合理化などを、戦略的テーマとしてますます重要視していることから、クラウドおよびAIの導入はここ1年で著しい成長を遂げてきた。強力なデータ戦略に後押しされる形でクラウドとAIが同時に実装された場合、個々の価値の合計よりもさらに大きな価値をもたらすことが可能となる。

クラウド導入をリードしている企業は、あらゆる重要なビジネス指標において競合他社を上回るパフォーマンスを出す傾向にある。一貫したデジタル戦略の一部としてAIをクラウドに追加することは、新型コロナウイルス感染症パンデミックに伴う諸課題に対するより俊敏な対応を含め、重要分野での業績にさらなる改善をもたらすことができる。

Oxford EconomicsおよびIBMは、クラウドサービスのある程度利用し、少なくともAIを試用している組織に所属する6,000名のCIO、CTOおよびIT部門責任者を対象に調査を実施した。6つの業界および26か国の国々を対象に行った本調査データの分析結果では、データ戦略、AIおよびクラウド（特にハイブリッドクラウド）は、ますます効果を上げており、相互のつながりが深くなっていることを示している。

弊社の調査結果によると、クラウドはビジネスアプリケーションにとって不可欠な環境となっており、（オートメーション、高度な分析、顧客対応における重要性が高まりつつある）AIは、クラウド上での開発・デプロイに最適となっている。

2020年初頭、優先事項であったクラウドとAIの導入の成功は、世界的なパンデミックとそれに伴う経済の不透明感が変化を加速化させ、混乱を助長しているため、今日、生き残りをかけた課題となっている。実際、本調査における高成長企業（「クラウドストラテジスト」「クラウド・AIユニファイア」と呼ばれる2つのグループに分類）は、クラウドおよびAI戦略を強化している。

本調査について

サンプル: 最高情報責任者 (CIO)、最高技術責任者 (CTO)、IT部門責任者 (VP)、相当する役職、6,000人

対象セクター: 小売、製造、金融サービス、電気通信、医療機関および健康保険機関/医療保険会社

対象国: アルゼンチン、オーストラリア、カナダ、チリ、中国、コロンビア、コスタリカ、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、メキシコ、ニュージーランド、パナマ、ペルー、プエルトリコ、サウジアラビア、シンガポール、南アフリカ、韓国、スペイン、アラブ首長国連邦、英国、米国

対象期間: 2020年5月～8月

主な調査結果

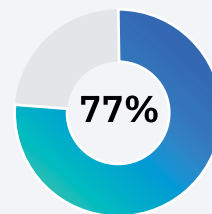
- **クラウドおよびAIは、すでに価値を提供しはじめている。**多数の回答者が、クラウドとAIの組み合わせたプロジェクトの有用性を報告しており、投資利益率 (ROI) は業務オペレーション、IT運用、顧客サービスが最も高くなっている。
- **クラウドおよびAIの導入が進んでいる企業は、競合他社を上回るパフォーマンスを出している。**リーダーセグメントは、一連のテクノロジーとビジネス分野にわたり報告されている実効力の強化を含め、重要な方法で他社と一線を画している。AIおよびクラウドの利用が最も進んでいる企業、つまり、ある程度ハイブリッドクラウド環境を実現する可能性が高い企業は、クラウドが投資利益率(ROI)向上の促進要因と考える傾向が他の企業よりも高い。
- **クラウドは、新たなAI時代への基盤技術となりつつある。**ビジネスのモダナイズ(最新化)、意思決定やワークフローの自動化、顧客体験の向上は、AI導入の最大の動機となっている。クラウドとAI対応アプリケーションの開発を同時に行うことは、これらのテクノロジーが戦略、戦術、パフォーマンスをどのようにサポートするかに注目している経営者の優先事項である。4分の3 (74%) 近くが、「クラウドは、AIアプリケーション開発を成功させるのに欠かせない」に同意している。ハイブリッドクラウド・ユーザーは、その他のユーザーに比べ、「AIの効果的な利用は、組織の長期的な成功に不可欠である」と回答した割合が高い。(80%対 67% : すべてパブリックまたはプライベート環境のユーザーと比較)。
- **AIは、データに依存しており、そのデータはますます複雑化している。**回答者の77%が、クラウド、データ、AIのための統合プラットフォームは、長期的な成功には欠かせないものとみなしており、同等数の回答者が、クラウドはデータ管理とAIの欠かせない基盤であると回答している。

クラウドとAIの導入が進んでいる回答者は、その他の回答者と比べ、クラウドはデータ管理とAIの欠かせない基盤であると考えている。

- **複雑なビジネスニーズは、クラウドに対して状況に応じたアプローチを必要とする。**経営トップは、さまざまなニーズと機会に対応するため、複数タイプのホスティング環境を利用し多様なクラウドポートフォリオを構築していくことを重視している。こうした傾向は、今後2年間に加速していくと予想され、また、多くの企業のハイブリッド・マルチクラウド環境への移行が進んでいる。

この調査では、上級IT責任者および事業経営者の両者を対象にハイブリッドクラウドとAIの関連性について重要な洞察を明らかにしている。[ホワイトペーパー全文](#)では、世界中の組織の成功を支えるいくつかの戦略について取りあげていく。これらの組織がクラウド、AIアプリケーション実装の進捗状況、従業員、この変革プロセスを先導する組織プロセスやプラットフォーム戦略に関してどのような意思決定を行っているかについても検討する。

[ご登録いただき、ホワイトペーパー全文をご覧ください。](#)ハイブリッドクラウドとAIが、企業のITアーキテクチャにどのように役立ち、事業価値をもたらすのかについては、[IBMウェブサイトをご覧ください。](#)



ITリーダーの77%が、「クラウド、データ、AIのための統合プラットフォームが、当組織の長期的な成功には欠かせない」と回答している。

Oxford Economics会社概要

Oxford Economicsは、グローバル予測、定量分析、ソートリーダーシップのトップ企業である。世界的な顧客ベースは、1,500社を超える国際企業、金融機関、政府機関、大学からなる。英国オックスフォードを本社とし、世界中のオフィスに250名のエコノミストとアナリストを含む400名のスタッフを擁している。弊社は、クラス最高の世界経済モデルおよび産業モデル、そして分析ツールを活用することで、外部市場動向を予測し、経済、社会、ビジネスインパクトの評価する卓越した能力を備えている。

IBM会社概要

IBMは、クラウドおよびAIによるソリューションを提供するトップ企業であり、世界最大のテクノロジーおよびコンサルティング企業である。20か国におよぶ数千社の企業からの信用を集めるIBMクラウドとRed Hatは、市場を牽引するセキュリティ、エンタープライズスケーラビリティ、そして俊敏性と持続性を向上するオープンイノベーションを一つに統合する。データドリブンによるビジネスのためのAIプラットフォームIBM Watsonによって、現実世界の問題に対し業界ベースのソリューションを構築している。70年以上にわたり、IBM基礎研究所は、6か国、12の研究施設に在籍する3,000名以上の研究者により、情報技術の未来を定義してきた。

© Copyright IBM Corporation 2020

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

アメリカ合衆国にて作成
2020年9月

IBM、IBMロゴ、[ibm.com](https://www.ibm.com)、IBM Cloud Pakは、世界の多数の国で登録されたInternational Business Machines Corp.の登録商標です。その他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytradeの「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Linuxは、米国、その他の国、または両方にてLinus Torvaldsの登録商標です。Kubernetesは、The Linux Foundationの登録商標です。Red HatおよびRed Hat OpenShiftは、Red Hat, Inc.の登録商標であり、Open Container Initiative™は、The Linux Foundationの商標です。

本文書は、発表日現在の情報であり、IBMによって変更される可能性がありますのであらかじめご了承ください。IBMが運営するすべての国ですべての製品・サービスがご利用いただけるわけではありません。

本書の情報は、「現状のまま」提供されるものであり、明示または黙示にかかわらず、商品性の保証および特定目的の適合性の保証、権利侵害のないことの保証を含む、いかなる保証も適用されません。IBM製品は、提示された使用許諾条件に従い保証するものとします。

